

こんにちは！第五南自主防災です

第五地区南連合自主防災会だより <第9号>



第五地区南連合自治会

自治会長 小林 昭

関連死、行方不明者を含め2万2,000人を超える犠牲者を出した東日本大震災は3月11日で発生から14年となりました。あの日のあの映像～津波が何の容赦もなく街を、人の暮らしを飲み込んでゆくあの映像を見るにつけ何ともいえず唯々胸が締め付けられます。東京電力福島第1原発事故にしても後始末もままならず本当の意味での復興はまだまだ先のことのように思われます。そして、被災地からはマスコミを通しいろいろな声が聞こえてきました。

「生かされた身だから、これからも震災と向かい合っていく」「震災の経験を子供たちに伝えていきたい」「辛い思いは変わらない」「生き残った者の後ろめたさもある」これらの言葉を反芻するにつれ、生き残りそこで生きていく人々の悲壮感が伝わってくるような気がします。幸か不幸か、人の記憶は年月とともに薄れてゆきます。しかし、南海トラフ地震がささやかれる昨今、東日本大震災や阪神淡路大震災を決して風化させてはならないと思います。最近の自然災害は、私たちの想像をはるかに超え、激甚化しています。私たち人間はちっぽけで非力です。自然の脅威にあらがう（抗する）ことなど出来ません。

「その時では遅すぎます」 何度も何度も繰り返しますが、今から、地震が来たときの事を家族で話し合ってください。

はなから行政だのみにするのではなく、一人ひとりが自分に責任を持って災害に備え、お互いを支え合える地域を共につくっていきましょう！



災害用伝言ダイヤル「171」の 実体験運用について

災害用伝言ダイヤルは災害時にのみNTTが提供するものです。平常時は利用出来ません。しかし、毎月1日と15日には実体験利用が出来ます。

伝言録音時間：30秒

伝言保存期間：体験利用期間中

*「171」利用にあたっては通話料金が掛かります。

伝言の登録方法

1. 「171」にダイヤルします。
2. 「1」をダイヤルします。
3. ご自分の電話番号をダイヤルし、ガイダンスに従い録音してください。

伝言の再生方法

1. 「171」にダイヤルします。
2. 「2」をダイヤルします。
3. 安否情報等を確認したい相手の電話番号をダイヤルします。